

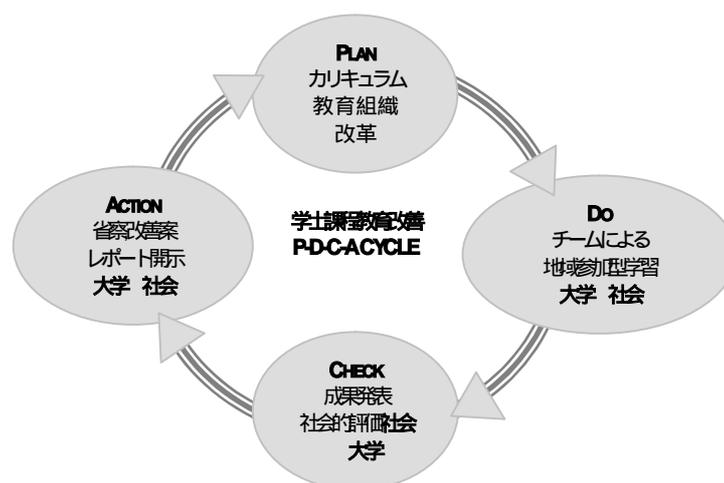
文部科学省の平成21年度「大学教育・学生支援推進事業(テーマ A)大学教育推進プログラム」に本学のプログラムが採択されました。

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業(テーマA)大学教育推進プログラム(文部科学省)に本学の医学部・薬学部薬学科、看護学部が取り組む「医療系学部連携チームによる地域参加型学習」が採択されました。

取組の概要

医・薬・看護学部の連携により以下の特徴を持つ地域参加型学習を初年次教育および総合的な学習体験カリキュラムのコアとして導入する。

- 1) 地域社会のニーズを発見し、「学生なればこそできる」課題の解決を学習テーマとする。
- 2) 学習活動の過程と成果を常に地域や現場に還元し、人々との対話を通じて医療の背景にある生活や文化に対する関心を高め幅広い学びの保証を行う。
- 3) 医・薬・看護学部の複数学年混成チームで課題解決に取り組み、チームワーク、リーダーシップ能力を習得するとともに「教えることで学ぶ」SA および双方方向型学習を行う。
- 4) 低学年の間に地域の医療現場やそこで活躍する人々との率直な関わりを持つことで、地域医療への理解と親和性を醸成する。また TA による研究支援を通じ大学の講座との交流を深める。
- 5) 持続可能な発展のための教育として地域や自然、人類の未来に対する責任意識を学ぶ。
- 6) 学習成果はポスター発表および HP への公開を行い社会的評価を含む多面的な評価を行う。地域参加型学習の成果に対する省察と改善策をテーマに FD、SD ワークショップを行い、プロダクトを地域社会に公開することで体系的な教育課程の改善のための P-D-C-A サイクルを形成する。これにより、社会のニーズが教育改革に反映され、それが地域での学習に反映されるという、開かれた教育文化としての学士課程教育を実現する。



地域参加型学習による開かれた教育文化としての学士課程教育

関連リンク：大学教育・学生支援推進事業(テーマA)大学教育推進プログラム
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/gp/1281464.htm